

平成 28 年 8 月 8 日
東アジア文化都市推進課
電話：0742-27-0120 FAX：0742-27-0121

～「東アジア文化都市 2016 奈良市」コア期間プログラムがついに本格始動！～ 「^{ことほぐ}奈良」開幕記念アーティストトーク&ガーデンパーティー参加者募集と 参加アーティスト作品制作開始について

「東アジア文化都市 2016 奈良市」のコア期間プログラム「古都祝奈良ー時空を超えたアートの祭典」の開幕記念イベント、「古都祝奈良」開幕記念アーティストトーク&ガーデンパーティーを開催します。

また、参加アーティストの作品制作がいよいよスタート！その状況と今後のスケジュールを発表します。

1. 「古都祝奈良」開幕記念アーティストトーク&ガーデンパーティー参加者募集

9月3日から10月23日まで開催する「東アジア文化都市 2016 奈良市」のコア期間プログラム「古都祝奈良ー時空を超えたアートの祭典」の開幕を記念して、社寺やならまちでアート作品を展開するアーティストたちによるトークセッションを開催します。

世界を舞台に活躍するアーティストが、古都奈良という場所と現代アートの力について語り、事業への期待感を高めます。

また、後半は食部門プロジェクト「Nara Food Caravan」として、ガーデンパーティーを開催します。

■日時・会場 9月2日（金）17:00～20:00
ならまちセンター市民ホール&芝生広場（東寺林町）

■内容 17:00 主催者・来賓あいさつ
17:05 韓国・慶州市 伝統芸能披露



姉妹都市である韓国・慶州市から、崔良植(チェヤンシク)市長・朴承稷(パクスンジク)議長が「古都祝奈良」開幕のお祝いに来られ、芸能団によるステージをご披露いただきます。

17:20 アーティストトーク

- ・記念対談 『場の力とアート』 川俣正（参加アーティスト）×北川フラム（アドバイザー）
地域の特徴や課題を抽出し、ワークインプログレス（常に進化する形態のアート公開制作）など独自のアート手法を創造してきた川俣正と、アートの力を媒介にした地域づくりに取り組む北川フラムが、『場の力とアート』をテーマに対談します。

・参加アーティストからの作品紹介

奈良を代表する八社寺で作品を制作した世界各国のアーティストと暮らしの場であるならまちの町家を舞台に展開したアーティストが、それぞれの場と作品の関係について語ります。

18:30 **ガーデンパーティー** : Pop up Restaurant (「Nara Food Caravan」プロジェクト)

食部門ディレクターの船越雅代氏が奈良の生産者や食材をリサーチし、そこから見えるシルクロードを通じた東アジアの食の変遷、歴史などを食の世界で表現します。会場に“ゲル”がポップアップ、リサーチを重ねて作り上げたレシピをお楽しみいただけます。

■参加方法 事前申込制。8月19日(金)までに「古都祝奈良アーティストトーク参加希望」、「氏名」、「電話番号」、「メールアドレスかFAX番号」を明記し、メールかFAXで「東アジア文化都市2016奈良市」実行委員会事務局へ。

- ・メール : kotohogu@city.nara.lg.jp FAX:0742-27-0121
- ・当選者のみ「参加証」を8月23日(火)に一斉発送。
- ・定員 : 100人程度

■参加費 アーティストトーク : 無料
ガーデンパーティー : 有料 (ウェルカムドリンクは無料)

■主催 奈良市、「東アジア文化都市2016奈良市」実行委員会、文化庁

【「古都祝奈良一時空を超えたアートの祭典」開会式 (大安寺東塔跡)】

9月3日(土) 10:30~11:00には、「古都祝奈良」開会式(テープカット等)を川俣正氏の作品が展開される大安寺東塔跡前で開催します。(観覧申込不要)
※近鉄奈良駅・JR奈良駅から無料シャトルバスを運行します。

「アーティストトーク」作品紹介参加アーティスト(予定)

※アーティストのスケジュール等により、当日参加できない場合がありますのでご了承ください。

■八社寺アートプロジェクト

◆紫舟(日本) / 春日大社・今西家書院

文字に内包される表現や感情を引き出す書で知られる。書を伝統から解放し、書=平面という常識を超えた「書の彫刻」を制作。その唯一無二の表現は世界で高く評価されている。ミラノ国際博覧会(2015年)日本館エントランス空間のアートを担当。またカルーゼル・デュ・ルーブル(パリ)で開催されたフランス国民美術協会展(2014年)で金賞を受賞し、翌年の同展では主賓招待作家としてエントランスホールで作品を展開するなど、世界へ日本の文化を発信している。

◆サハンド・ヘサミヤン(イラン) / 興福寺

1977年、テヘランに生まれる。イスラム建築から影響を受けた反復する形、シンメトリーな構造を大胆に拡張した作品を制作。主に金属を溶接して組み合わせた大規模な彫刻作品は、装飾的とされてきたイスラム美術にこれまでにない視点を提示したと評価されている。2015年ヴェネツィア・ビエンナーレにイラン代表として参加。これを機に欧米での作品発表が増え、国際的な評価が高まりつつある期待のアーティストのひとり。現在、テヘランを拠点に活動。東アジアでの作品発表は今回が初めてとなる。

◆キムスージャ（韓国）／元興寺

1957年、大邱に生まれる。1980年代より奨学金を得てパリやニューヨークに滞在し、朝鮮半島の伝統的な布や裁縫をテーマとした作品の制作を始める。自らの文化的なルーツを出発点に、遠く隔たった世界の文化や社会との出会い、さまざまな文化が縊りあう世界の複雑さを表現するインスタレーションやビデオ作品を展開してきた。ヴェネツィア・ビエンナーレをはじめ、世界各地のアートフェスティバルや美術館で作品を発表する韓国を代表する現代美術作家のひとり。現在、ニューヨークにスタジオを持ち、パリ、ソウルを拠点に活動する。

◆川俣正（日本）／大安寺

1953年、北海道三笠市に生まれる。1982年ヴェネツィア・ビエンナーレの参加アーティストに選ばれ、以後ドクメンタ（カッセル）など第一線のアートフェスティバルに多数参加。建築や都市計画、歴史学や社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまでかかわる、既存の美術表現の枠組みを超えていくプロジェクトを世界各地で展開する。東京藝術大学先端芸術表現科主任教授（1999—2005年）、横浜トリエンナーレ総合ディレクター（2005年）などを務める。現在はフランスの国立高等美術学校教授。パリ在住。

◆シルパ・グプタ（インド）／薬師寺

1976年、ムンバイに生まれる。人間の知覚と情報が伝達、理解される過程に関心をもち、既成品からビデオ、コンピュータ、パフォーマンスまで、多様な媒体による作品を通じて、想像上のものに過ぎない社会的な境界や分離が固定化されている状況に疑問を投げかける。シンシナティ・アートセンター、アーヘン近代美術館など美術館での個展多数。リヨン・ビエンナーレ（2009年）、横浜トリエンナーレ（2008年）など世界各地の主要なアートフェスティバルに参加するほか、テート・モダン、森美術館、グッゲンハイム美術館などで作品を発表する。ムンバイ在住。

◆ダイアナ・アルハディド（シリア）／唐招提寺

1981年、アレッポに生まれる。歴史や天文学の知見に貧困、テクノロジーと開発、グローバリズムなどの諸問題を融合させ、「不可能な建築」をテーマに木材や石膏、金属、ボール紙などを多様な素材を用いた造形作品を制作する。2015年ベネツィア・ビエンナーレに参加。以後、ドイツのミュンスター彫刻プロジェクトやアラブ首長国連邦のシャルジャ・ビエンナーレなどの国際的なアートフェスティバルや、ブロンクス美術館（ニューヨーク）、アクロン美術館（オハイオ州）などで作品を発表。日本での作品の発表は今回が初めてとなる。ニューヨーク在住。

◆アイシャ・エルクメン（トルコ）／西大寺

1949年、イスタンブールに生まれる。場所に着目し、そこで起きている現象にそって構想した作品を制作する。絵画、彫刻などの既存の手法や素材にとらわれず、文化の境界を自由に越境する作風で知られる。2011年、ベネツィア・ビエンナーレにトルコ代表として参加。ミュンスター彫刻プロジェクト（1997年）やイスタンブール・ビエンナーレ、光州ビエンナーレなどの国際的なアートフェスティバルでの発表多数。フランクフルト国立美術アカデミー教授を務め、現在、イスタンブールとベルリンを拠点に活動している。

■ならまちアートプロジェクト

◆宮永愛子／北風呂町の倉庫

1974年、京都府に生まれる。ナフタリンや塩、陶器の貫入音や葉脈を使ったインスタレーションなど、気配の痕跡を用いて時を視覚化する作品で注目を集める。2013年、第1回日産アートアワードでグランプリ受賞。これまでに、主なグループ展として日産アートアワード2013（BankART Studio NYK）、あいちトリエンナーレ2010（愛知芸術文化センター）などで作品を発表している。そのほかミヅマアートギャラリー、国立国際美術館などで個展多数。

◆黒田大祐／東城戸町会所（大国主命神社）

1982年、京都府に生まれる。大学進学を機に広島に拠点を移し、広島や瀬戸内海の歴史、出来事をテーマに作品を制作。東日本大震災以後は「文明的なもの」と「自然的なもの」の調和と関係性を問う作品を制作している。近年は対馬や韓国に滞在してフィールドワークを行い、地勢と文明の関係性をテーマに映像、家電などを用いて動きのあるインスタレーション作品を展開。作品制作に加えて彫刻家橋本平八の研究、「チームやめよう」の主宰、広島芸術センターの運営など幅広く活動している。

◆西尾美也／鎮宅霊符神社・公納堂町の路地奥

1982年、奈良県に生まれる。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目し、地域住民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開する。六本木アートナイト2014ではテーマプロジェクトを手がけ、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館の三か所で大規模なインスタレーション作品を制作。2016年にはあいちトリエンナーレ、さいたまトリエンナーレに参加するなど全国各地で作品を発表している。現在、奈良県立大学地域創造学部専任講師を務める。

◆田中望／奈良オリエント館

1989年、宮城県に生まれる。その土地の民俗や歴史のリサーチと現場での体験を通して、場所の記憶や共同体のイメージを神話的な風景として描き出す。《洛中洛外図屏風》のように、細部をみることから出発してより大きな全体の意味を読み解く絵画作品を発表している。2014年、VOCA展2014（上野の森美術館）にて大賞を受賞。これまでにアートフロントギャラリー、横浜美術館アートギャラリーなどで個展を開催。大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ2015参加作家。

◆岡田一郎／奈良町にぎわいの家

1976年、奈良県に生まれる。見慣れた環境から新たな認識を導き出すことをテーマに、音を用いたインスタレーション作品や展示場所の場所性を取り込んだ作品、写真を用いた作品などを発表している。関西を拠点に活動し、「リアルなリアルなリアルの」（和歌山県立近代美術館、2015年）、「reverberation — 残響」（奈良町にぎわいの家、2015年）などで作品を発表。奈良町在住。

◆林和音／奈良町にぎわいの家

1984年、大阪府に生まれる。自然界の営みや情景を発想の起点とし、紐や縄、素材を編みつないで立体構成したものを空間に展開するインスタレーション作品を制作する。2007年より関西を拠点に活動。個展や六甲ミーツ・アート：芸術散歩2015（六甲有馬ロープウェー六甲山頂駅）、奈良・町家の芸術祭：HANARART2012（大和郡山市、浅井邸酒蔵）などのアートイベントで作品を発表している。

2. 「古都祝奈良」参加アーティスト作品制作現場の取材について

9月3日から10月23日まで開催される「東アジア文化都市 2016 奈良市」のコア期間プログラム「古都祝奈良—時空を超えたアートの祭典」に向け、「美術部門」に参加するアーティストの作品の制作が一部で始まりましました。つきましては、作品の制作過程の取材をお願いいたします。

※制作の進捗状況、作家の都合等によりスケジュールは変更になる場合があります。

※取材をご希望される場合は、作家・現場等と調整しますので、東アジア文化都市推進課までご連絡ください。

■参加作家、会場、制作スケジュール一覧

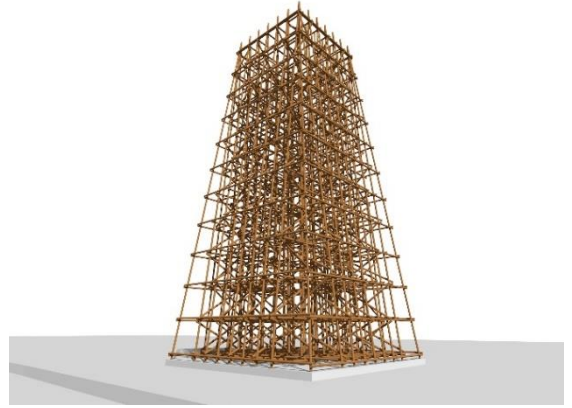
(制作スケジュール空欄のアーティストについては、決定次第順次発表)

	作家名	会場	制作スケジュール	
八社寺アートプロジェクト	蔡國強 (中国)	東大寺	展示中	
	紫舟+チームラボ (日本)	春日大社		
	サハンド・ヘサミヤン (イラン)	興福寺	8月24日(水) 午前6時30分頃～ 午前8時30分頃～ 8月25日(木) 午前5時45分頃～ 午前8時30分頃～ 午後1時頃～ 8月26日(金) 8月27日(土)～29日(月)	作品搬入 作品位置決め、作品組み立て 作品組み立て 資材搬出 作品組み立て(仕上げ) 全体確認 予備日
	キムスージャ (韓国)	元興寺		
	川俣正 (日本)	大安寺	8月8日(火)～12日(金) 8月13日(土) 8月18日(木)～20日(土) 8月21日(日) 8月22日(月)～24日(水)	丸太足場組み立て(7～12段) 全体補強・調整 仕上げ(足場板配置)(作家作業) 地上オブジェ制作(作家作業) 仕上げ(足場板配置)(作家作業)
	シルバ・グプタ (インド)	薬師寺		
	ダイアナ・アルハディド (シリア)	唐招提寺	8月26日(金) 8月27日(土)～28日(日) 8月29日(月)～30日(火) 8月31日(水)	作品設置 作品設置(作家作業) 作品設置(作家作業)、足場撤去 予備日 いずれも作業時間は午前8時～午後5時
	アイシャ・エルクメン (トルコ)	西大寺	8月8日(月) 8月9日(火)・10日(水) 8月11日(木)～13日(土) 8月20日(土) 8月22日(月)・23日(火) 8月26日(金) 8月27日(土)・28日(日) 8月29日(月) 8月30日(火) 8月31日(水)	大工工事 防水工事 左官工事 作業なし(愛染祭のため) 剪定、草刈 パイプのルート決め(作家作業) 水道配線・パイプ搬入 イレクター組み立て・設置(作家作業) パイプ・機器設置 全体調整、塗装タッチアップ(作家作業) パイプ・機器設置、水圧等調整、資材搬出 予備日 いずれも作業時間は午前8時～午後5時
	宮永愛子	北風呂町の倉庫		
	黒田大祐	東城戸町会所		
西尾美也	鎮宅霊符神社			
田中望	奈良オリエンツ館			
岡田一郎	奈良町にぎわいの家			
林和音				
西尾美也	公納堂町の路地奥			
紫舟	今西家書院			

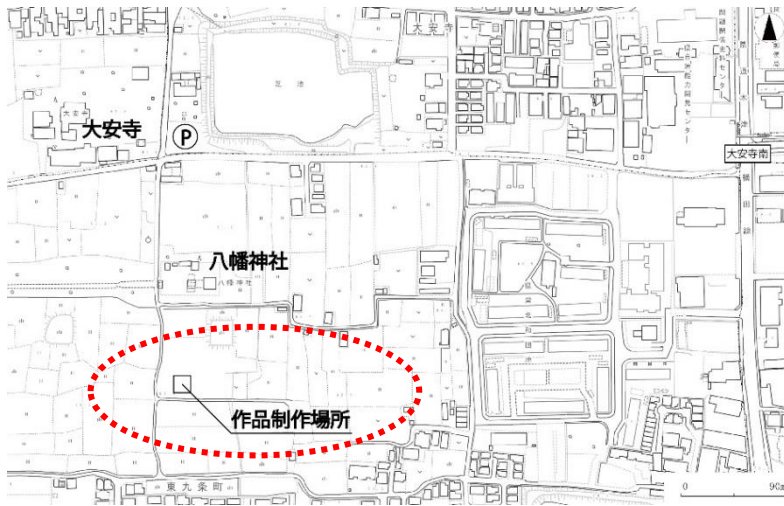
【現在制作進行中のアーティスト】

◆川俣正（日本）／大安寺

遺跡調査により東西に巨大な七重塔があったと推測される塔跡隣地で作品を発表。文化財の修復等で伝え受け継がれてきた足場丸太の技術を活用して、かつての塔を彷彿とさせるかのような現代の塔を制作します。



作品イメージ「足場の塔」



【スケジュール】

8月8日(日)～12日(金)

丸太足場組み立て(7～12段)

8月13日(土)

全体補強・調整

8月18日(木)～20日(土)

仕上げ(足場板配置)(作家作業)

8月22日(月)～24日(水)

仕上げ(足場板配置)(作家作業)

制作進捗状況

2016. 08. 01



作品制作場所(大安寺塔跡付近)



丸太足場制作のための足場の設置を開始

2016. 08. 03



丸太足場制作のための足場を設置



作品の制作に使用する丸太を搬入



作品の形状を決める丸太の位置を確認